



市旗



市の木：ナナカマド



市の花：ベニバナ

友好姉妹都市

- キッツビューエル市(オーストラリア)
- スワンヒル地方市(オーストラリア)
- 吉林市(中華人民共和国)
- ウラン・ウデ市(ロシア連邦)
- ボルダー市(アメリカ合衆国)
- 大島町(東京都)
- 加美町(宮城県)

山形市の概要

人口：254,077人(男121,341 女132,736) <平26.1.1>
 世帯：99,681世帯
 面積：381.58 km² (東西 21.5km、南北 27.5km)
 標高：90m (中野目地区) ~ 1841m (熊野岳)
 市役所の位置と標高：東経140° 21' 北緯38° 15' 標高145.3m

1 緑豊かな山形盆地・扇状地



馬見ヶ崎扇状地のイメージ (10m毎の等高線)

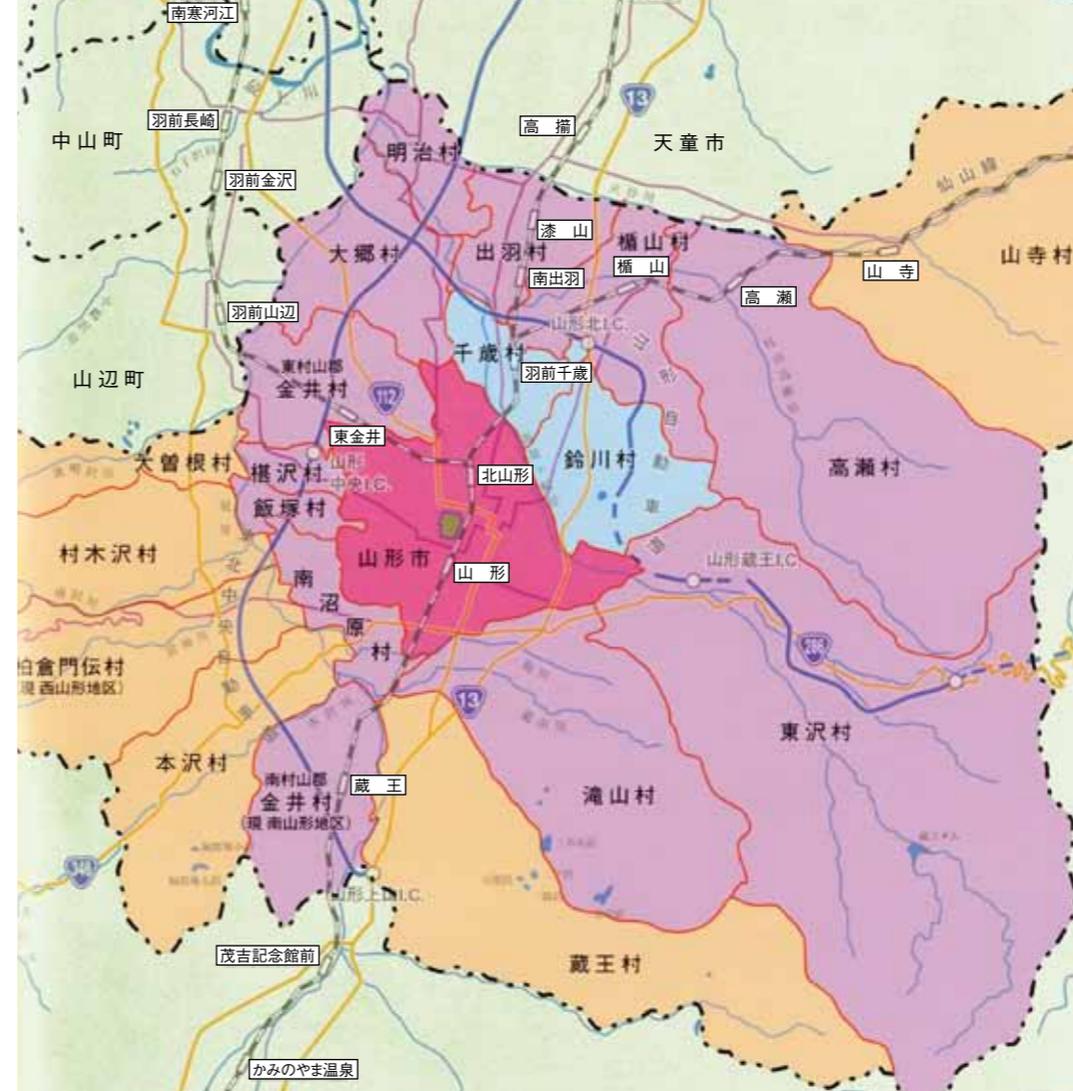
平地は扇状地

上の写真は、前頁とは正反対で西方の空から東方を撮った9月の様子です。東方の東沢地区を「扇」の要にして開いたような扇状地であり、土地の高さは西方から東方になるにしたがって登りになっており、市街地の中央部は高くなっています。

標高は、扇端の中野目が90mで、扇央の市役所が145m、扇頂の防原町が258mです。市役所から防原までは1km進む毎に平均22mの登り坂です。自転車での登り坂は一苦労ですが、逆に下り坂は楽々です。

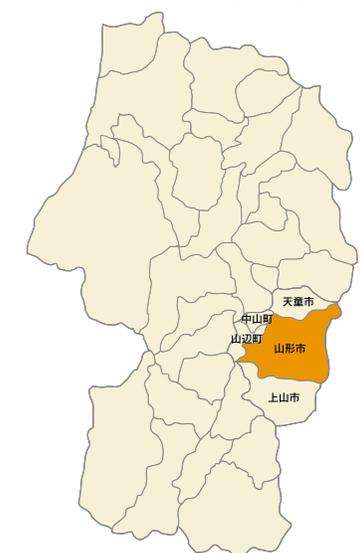
地下水は生きている

この扇状地は、長年蔵王の山々の岩石が馬見ヶ崎川の洪水の度に運ばれ、土砂石が数百mも堆積されてきたものなのです。江戸時代に馬見ヶ崎川の流路が鈴川の方へ変更されましたが、扇状地の地下水は次のような特徴として現在も残っています。



山形市への合併(地図1)

山形市の周りの市町(地図2)



- 昭和18年に合併した村
 - 鈴川村
 - 千歳村
- 昭和29年に合併した村
 - 飯塚村
 - 榎沢村
 - 東村山郡 金井村
 - 大郷村
 - 出羽村
 - 橋山村
 - 高瀬村
 - 明治村
 - 滝山村
 - 南沼原村
 - 東沢村
 - 南村山郡 金井村 (現 南山形地区)
- 昭和31年に合併した村
 - 大曾根村
 - 山寺村
 - 蔵王村
 - 本沢村
 - 柏倉門伝村(現 西山形地区)
 - 村木沢村

○馬見ヶ崎川の水は、小白川町や緑町では普通に流れていますが、途中の薬師町や印役町付近では一時水無し川となり、下流の長町付近でまた流れ出ます。

それは川床が土砂石であるために地下にもぐり伏流水となり、湧水地帯川水が再湧出するからです。

○大地に降った雨や雪が地下100mに達するには8年間、200mには実に120年かかると言われています。水道が普及する昭和期までは、多くの市民は井戸水を活用していました。数多くの伏流水が流れる旧河川跡の道筋に現在も、美味しい地下水を利用している酒や醤油等の醸造所が残っています。

○山形城のお堀に流れ込む川がありませんが、築城当時は地下水が豊富に湧出していたと考えられます。その後は「御殿堰」を活用し、地下水を動力揚水して、霞城公園の維持管理、環境保護に努めています。山形市は、1889(明治22)年に市制を施行しました。その後、1943(昭和18)年に鈴川村と千歳村の2カ村が合併。1954(昭和29)年から1956(昭和31)年までには近接する18カ村が合併し、現在の市域になりました(地図1)。

昭和中期に大合併

山形市の周りは、北は天童市、南は上山市、西は山辺町と中山町と接しています。東は奥羽山脈を挟んで宮城県仙台市と川崎町です(地図2)。1999(平成11)年頃の「平成の市町村合併」では、全国で多くの合併が行われました。山形市も周囲の市町と話し合いましたが、実現に至りませんでした。